

「第2次香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定に向けての意見 募集結果

【実施時期】 令和元年 11 月 1 日(金)～11 月 22 日(金)

【回答資格】 市内に住所を有する人

【意見募集方法】

広報かとり 11 月号・市ホームページにより周知

●回答用紙による回答

- ・回答用紙設置場所 企画政策課、市役所・各支所情報コーナー、市ホームページ
- ・市役所本庁、各支所 1 回情報コーナーに設置した回収箱への提出、担当課へ持参、または郵送、ファックス、メールで提出

●市ホームページからの回答フォームによる回答

- ・スマートフォンなどからも回答可能な回答フォームを作成し Web から回答

【意見回答数】 4件(70 代男性、50 代女性、40 代男性、40 代女性)

【意見回答結果】

Q.現在の「香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲載されている施策に対して、第2次総合戦略で更に取り組んで欲しい施策に「○」をしてください。
また、どのようなことに具体的に取り組んでほしいと考えていますか。

(1) 地域における安定した雇用の創出

活力に満ち、魅力ある農林畜産業の実現	2 件
企業誘致や創業等への支援	4 件
中小企業の活性化支援や商業団体の育成・支援	2 件

【具体的な取組内容】

- ・九州の食品会社が千葉県のアサガオ農家から商品にならないアサガオを安く購入して有名なデパートに加工食品菓子として納品して利益あげていることを参考にして販路の開拓を研究する。農協等にも参加してもらい販路の開拓をしてもらい利益を上げる。(6次産業化・農産物等の販路拡大 70 代男性)
- ・香取市に住んでいる県庁・市役所(他市町村も含む)OB・銀行 OB に参画してもらい企業情報を収集する。(企業誘致 70 代男性)
- ・空き家を所有者の了解のうえ事務所として活用(創業等支援 70 代男性)

(2) 定住と香取市への交流・移住を促進

住環境面からの定住・移住推進体制の整備	1 件
特色ある学校教育の推進	1 件
観光資源の連携による回遊性の向上及び中心市街地の活性化	3 件
新たな都市と農村交流の潮流を創出	1 件

【具体的な取組内容】

- ・ 全国で 230 の地方自治体が推進意向している CCRC (都市圏に住む高齢者が地方に住み替えて地域活動・渉外活動をしながら安心して暮らせる住宅コミュニティ)を研究して、CCRC の事業主体になりえる医療法人や民間企業に働きかけて施設を建設してもらい、シングルマザー連携型を取り入れてもらい、CCRC で働く雇用をつくって、居住者の入居家賃の一部がシングルマザーの子どもの奨励金としてもらえる方式です。
米国の CCRC は原則として介護になっても入居家賃は変わらないのです。体の安心、お金の安心、心の安心です。自治体の規制緩和や減税が必要です。リスクを減らす方法として単独型ではなく地方の病院に大手優良企業が出資する共同経営の方法もあります。若者が生まれ故郷から出て行く、東京の学校を卒業して東京に就職してしまう現状です。CCRC は多世代に貢献し新たな雇用が生まれると思います。(70 代男性 日本版 CCRC)
- ・ 茨城県での映画撮影は全国一で 260 本前後です。2 番目は沖縄県の 50 本。
映画会社にアタック・アプローチをして、香取市で映画ロケをしてもらって、ロケ隊の宿泊代、飲食代、各種レンタル料など経済効果もあると思います。香取市の宣伝効果もあります。茨城県高萩市は、映画ロケ、テレビロケの誘致活動に取り組み成果を上げています。
(フィルムコミッション、シティプロモーション 70 代男性)
- ・ 映画撮影のロケ地として香取市の地域をメディアに売り込む。(フィルムコミッション、シティプロモーション 70 代男性)
- ・ 身体障害者の方の雇用を香取市の企業にお願いをし、外部にもそのことを発信して移住、定住を計り、空き家を安価での家賃で借りる手助け行政が行う。(空き家活用 70 代男性)

(3) 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる環境整備

子育て家庭への経済的負担の軽減	3 件
地域における子育て支援体制の充実	3 件
出生率・婚姻率の向上	2 件
保健機能の充実	1 件

【具体的な取組内容】

- ・ 子ども食堂の実施 (子ども食堂 70 代男性)
- ・ 産婦人科の誘致 (産科クリニック等誘致 70 代男性)
- ・ 結婚の世話をするおせっかいおじいちゃん・おばあちゃんを増やして活動をする (しあわせサポーター 70 代男性)
- ・ 習い事などの経費、将来の進学に向けた学資保険など子育てには多くの費用が掛かる。経済的支援を更に検討して欲しい。(子育て世代の経済的負担軽減 40 代女性)

(4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域の連携を促進

市民協働による地域づくり	1 件
公共交通の利便性向上	3 件
ごみ処理体制の充実	
再生可能エネルギーの利活用	
公共投資ストックマネジメントの強化	1 件
小中学校の再編及び施設整備	
安心で安全なまちづくり	
高齢者の健康長寿に向けた取り組み	2 件
地域間交流と近隣自治体との連携	1 件
歴史と文化を活かしたまちづくり	

【具体的な取組内容】

- ・ 香取市まちづくり協議会をしています。若い人の参画を願っています。各種ボランティア団体との交流と連携・会議等が必要と思慮します。**(まちづくり協議会 70 代男性)**
- ・ 将来子どもが自宅から通学等が可能になるよう JR、高速バスの利便性を高めて欲しい。
(公共交通の利便性向上 40 代女性)
- ・ 交通機関の充実と料金の見直し**(公共交通の利便性向上 50 代女性)**
- ・ 市内に居住しながら東京圏等への通勤通学を可能にする。都市間公共交通の向上は若年層の定住選択が可能になることに加え、様々な人生のステージ変化の際に、Uターン等の選択肢となる地域環境を下支えする基礎的な都市機能の向上につながると考えられるため、取り組みを推進してもらいたい。**(公共交通の利便性向上 40 代男性)**

Q.「第2次香取市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において新たに取り組むべきと考える内容がありましたらご記入ください。

- ・ 地域交流の活性化や地域の課題解決などのため、市民協働を進めているところであるが、総合戦略の趣旨から考えると、地域での多世代交流を積極的に取り入れて欲しい。イベントへの参加留まらず、地域の課題解決のための話し合いやアイデア募集にも加わってもらえるような仕組みがあると良いと思う。若い世代が地域に積極的に係わることで、地域への定住意向へつながると考える。**(多世代交流の推進 まちづくり協議会等 40 代男性)**